ー建設委員会傍聴記ー

（表面より）

須田委員　前回、区は高台化は関係ないと言い、今回はあると言う。

土木部　全てが高台化の対象。まず公園を広げ高台化、そして次へと移す。

高木秀隆委員（自民）　高台化では何が問題なのか。

土木部　安全な町にする。水害に強い町にする。ただ、時間差が出てくる。

高木委員　国、都、区がやることをはっきりさせ、事業を進めさせればいい。その手段がスーパー堤防だ。

渡部委員長　本日、採否を決めて欲しかった。本日は継続とする。

◇　◇

＝新たな陳情にご署名ください＝

いま、皆様のお手元には例えば「スーパー堤防に反対する」「補助283号線拡幅に反対する」などの陳情用紙が配布されつつあります。前区議会、建設委員会では陳情文にある本質を十分に吟味せず、不採択となった印象があります。

江戸川町会18班地区でのスーパー堤防事業では、碓氷峠付近に端を発する烏川が利根川に合流、関宿から江戸川に分派、東京湾に注ぐ約250kmの間で18班地区のみ危険とされ工事が始まったのです。データは恣意的としか考えられず、誰も疑問を呈しなかったのです。

同じように283号線拡幅では、岩槻街道の渋滞のためとして、高齢化社会で自動車は日常生活に不可欠、従って拡幅こそ最善だと反対意見を封じたのです。仮に左右16mに拡幅されれば北小岩の7、4、3丁目にはダンプカーなどの産業車両が行き交い、静かな生活は一変して高齢の方、幼児には安心して暮らすことは出来なくなるのです。

もう一つ。道路造りは街づくりです。街づくり計画がある所にスーパー堤防が登場するのです。

どうか『また署名か！』と思われず、明日を考えご協力をお願いいたします。

江戸川防災勉強会のお知らせ

・テーマ　本当に安全な堤防とは

＝鬼怒川決壊に学ぶ＝

＜基調講演＞越水しても決壊しない耐越水堤防へ
講師：石崎勝義さん（元建設省土木研究所次長）

＜報告＞裁判からみえてきたスーパー堤防の本質
・小島延夫さん（弁護士）
・嶋津暉之さん（水源開発全国連絡会共同代表）

主催　江戸川防災勉強会

日時：4月9日(土)13:30～15:45
会場：タワーホール船堀２Ｆ「福寿」
資料代：500円

（江戸川区スーパー堤防工事差止等請求訴訟）

第３次訴訟　第６回口頭弁論期日

期日：6月1日(水)　午前10時30分開廷
場所：東京地方裁判所　103号法廷
交通：東京メトロ「霞ヶ関」A-1出口１分

3月8日開催予定だった口頭弁論が裁判所の一方的な理由で延期になっていた裁判です。この日に結審の予定です。ぜひ、傍聴ください。